

脱炭素社会 実現目指す

注文住宅を手がけるアイ・ホーム（宮崎市、宜野座俊彦社長）が、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ「日本気候リーダーズ・パートナーシップ」（JCLP）に加盟した。県内では宮崎電力（同、小野晋太郎社長）に次いで2事業所目。

JCLPは2009年、脱炭素の実現には産業界が危機感を持ち積極的な行動を開始すべきという認識の下、日本独自の企業グループとして発足した。加盟企業間の知見共有と協働を促すほか、関係省庁への提言・声明にも積極的だ。

10月20日時点で225社が加盟しており、加盟企業の売上高は約13

アイ・ホーム（宮崎市）企業グループ加盟

0兆円。太陽光や風力などの再生可能エネルギーで事業に使う全ての電力を賄うことを宣言する国際的な企業連合「RE（アールイー）100」などへの参加・申請も支援している。

アイ・ホームはこれまでRE100の中小企業版である「RE Action（アールイー・アクション）」に参加。21年度には自社で使用した電力の再生可能エネルギー率100%を達成した。宜野座社長は「JCLPへの加盟でさらに環境に配慮した企業を目指す」と意気込みを語る。コロナ禍前に加盟したという宮崎電力はRE100の達成を目指している。小野社長は「ウクライナ危機で石炭などの輸入価格が高騰し、電気が上がっている。こうしたリスクに左右されないためにも再生エネルギーへの転換が必要」とし、加盟により「各社と情報交換して知見をユーザーに還元できたら」と話している。

（樋口由香）